

善養寺便り

第二十六号

令和二年 秋号 発行 善養寺

二〇二〇年という年

慈光照護のもと、門信徒の皆様には念仏相続のこととお慶び申し上げます。

さて、二〇二〇年は、新型コロナウイルス

ルスに苦しめられた一年でした。皆様も、大きな影響を受けられたことと思います。いまや、マスクは必需品になってしまいました。感染は、この冬、また拡大傾向を示しています。要注意です。

そんなコロナに、私達は、強い恐怖感と嫌悪感を持っていきます。未知なもの、正体不明とされるものには誰しも恐怖を感じますが、感染した方は、当然好きで感染している訳ではありません。

感染することが「悪」のような風潮には、何か違和感も感じます。例えば「自粛警察」なるものは、まことに、ヒステリックな考えではないかと思えます。

ともかく、今こそ、人類の英知を結集してほし

月の永代経法要と同様に手作りお齋の中止し、お弁当を用意しました。例年、たつの市の山下地区をはじめいくつかの農家の方からお米をお供物としていただきますので、何とか皆様はその美味しいお米を食べていただきたいと思います、坊守と婦人会役員さんが「ひじきご飯」を作り、皆様にお持ち帰りいただきました。テーブルには、飛沫防止のパーティションも用意しました。(写真)

日程を短縮しましたので、コーラスが出来なかったことは誠に残念でした。ご法中のお勤めも、各日いつもの半分の寺院にご出勤いただき、休憩の度に本堂のすべての戸を開け、換気もしました。

ご講師は、広島県江田島市の徳正寺住職、護山智孝師にお取り次ぎいただきました。江田島市は、昔海軍兵学校があった、呉市沖の島です。

師は親しみやすい広島弁まじりで、宗祖のお言葉や門信徒の方々の言葉



いものです。

仏教の根本思想である「三法印」の一つ「諸行無常」は、世の現実を明確に表しています。すべての物事は変化していくのです。悲しいかな、ウイルスも変化、変異するので

す。二〇二〇年という年は、人類には忘れ得ぬ年になりそうです。

マスク着用
ご協力お願いいたします



〈活動報告など〉

◆令和二年報恩講法要

十一月一日、二日と、今年の「報恩講法要」が無事勤まりました。

このような時節の中にも関わらず、多くの門信徒の方にお参りいただきましたこと、また、法要修行のため各町の方にご協力いただけましたことは、誠に有り難く、深く感謝申し上げます。

今年は、感染症対策抜きに勤めることは出来ません。お寺でできる対策には限界もありますが、できうる限りの対策を講じました。

まずは、入り口に、除菌用アルコールはもちろん、非接触の検温器も設置しました。そして、六のやりとりから、ご法義を楽しくわかりやすくお話になりました。皆さん、大変熱心にお聴聞されました。

師のお話しの中で、毎年お配りしている、法語カレンダーの今月の言葉の話がありました。後ほど紹介します。

ちなみに「取り次ぐ」というのは、お聖教の言葉を、布教使が「取り次ぐ」という意味です。

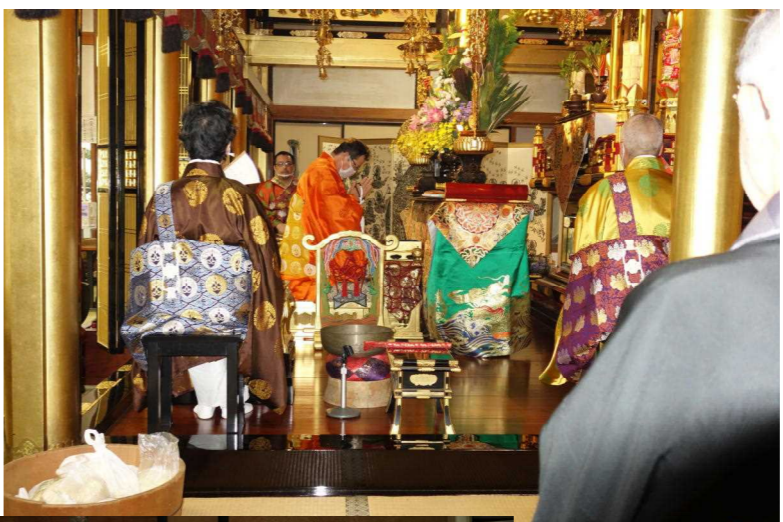
全国で、いや世界中であらゆることが中止や延期に追い込まれる中、



当山は、あえて法要を勤めました。法要は伝道布教活動の要です。コロナ禍だけでなく、これまでも震災や風水害で、法要中止を余儀なくされた寺院も少なくないでしょう。西本願寺でも、今年二

月頃から主な法要はすべて中止になっていったようです。本山において、お聴聞の場がなくなるとう信じられない状況でした。

今後、コロナ禍がどのようなようになっていくかまだまだ分からない状況ですが、当山は、今後もできる限り、行事は続けたいと思います。



と、言葉そのままなのですが、東井氏の深い信仰心が伺える言葉です。氏が病弱な奥様との暮らしの中で発せられた言葉だそうですが、私は改めて自分に言い聞かせたい言葉となりました。

今後の予定（マスク着用の上、

お気をつけてご参拝ください）

◆令和二年第三回仏教講演会

十二月十四日（月）午後一時半から

谷川弘顕師

◆元旦会

令和三年一月一日 午前九時

◆令和三年第四回仏教講演会

三月三日（月）

午後一時半から

安方哲爾師

※年末納骨堂大掃除を十二月二十日（日）に予定しています。

※すべての行事は、感染状況により中止することがあります。



境内のツワブキ

令和二年法語カレンダー十一月の言葉



「拝まない者もおがまれている
拝まないときもおがまれている」

皆様は、この言葉をどうお受け止めになられたでしょうか。もしかすると、そう言われてもなあ？とそのままにしておく方もいらっしゃるでしょう。この言葉は、東井義雄という方のお言葉です。法語カレンダーは「真宗教団連合」のホームページに詳しい解説がでていきますので、そちらもご覧いただきたいのですが、結論的に言うと、

「拝まない者（つまり私）も

（仏さまに、いつも）おがまれている

（私が）拝まないときも（仏さまに、いつも）

（私が）おがまれている。」

◆「真宗文化研究会」二十五周年

「聲明と雅楽の調べ」

令和三年三月三十一日（水）

午前十一時、午後二時半の二回公演

姫路市文化センター大ホール 入場無料

延期していましたが催しを、開催します。

「密」を避けるため、午前十一時開演、

午後二時半開演の二回公演となりました。

いずれも、約二時間の公演です。

今回は、座席指定となります。

近日中に、チラシ、チケットのご案内をいたします。感染対策は講じますので、是非お越しください。

善養寺ホームページも

ご覧ください

姫路 善養寺 で検索



☆護持会委の振込を、姫路郵便局から無記名で納入された方がいらっしゃいます。取扱日は六月十一日となっています。お心当たりのある方はお寺まで。